

青井記念館美術館

# はぐくみ会だより

第 21 号

平成18年4月1日

所蔵作品紹介

(20)



「ポインター」

松村秀太郎 作

# 第十二回青井中美展

11月24日(木)～12月7日(水)

第十二回青井中美展は、十一月二十四日に表彰式及び開展式を来賓、審査委員、受賞者、関係中学校等多数出席し挙行されました。今回は力作が多く、内容的にも秀作が揃い応募総数八一七点、入選点数三二四点と中学生には芸術の狭き門となりました。期間中は連日大変多くの父兄や親戚の方々、学校関係者、生徒の団体鑑賞と賑わいました。



●青井大賞 「自画像」 棚田早紀さんの作品

人物の持つ性格をしっかりと捉え、顔の表情もよく描写力も力強く表現されています。



●富山県知事賞 「蒼の世界」 荒岡健太君の作品

遠近法的な構成で人物から発するリズム感と絵画的表現、細部に渡る丁寧な仕上げが素晴らしい。

●富山県教育委員会教育長賞

「ある形」 廣島里鈴さんの作品  
魚の単純化した頭・骨・尾ひれを組み合わせて構成され、魚のモチーフに美しくまとめられた新しい感覚で素晴らしい作品です。



自画像を描いて

棚田 早紀

青井中美展に応募するために自分を描こうと決めたとき、私は自分と向き合う必要があると思いました。ありのままの自分を絵で表現したかったからです。学校からの帰り道、仲良しの友達と話しているところを描くことにしました。だから、楽しい気持ちで自然に表現できたのかなと思います。背景の光は、私の目指すものを表しています。目標に向かうまっすぐな私を描きました。描いていて一番楽しかったのはセーラー服です。吹奏楽、運動会、合唱コンクール……中学校での三年間を振り返りながら、私の様々な思いを全部、その青色に込めました。私は自画像を描いたことで、自分としっかり向き合い、自分をもっと好きになれました。そして、今のままの自分でこれからはがんばろうと思えるようになりました。

●最優秀賞

「きらめき」 宮池章恵さんの作品



彫刻の持つ造形的な表現の基礎である塊としての適切な処理や質感などを粘土の特長をつましく利用し清らかな少女の表情を表現した秀作です。

各受賞者

青井大賞	棚田 早紀 (高岡西部)
富山県知事賞	荒岡 健太 (井口)
富山県教育委員会教育長賞	廣島 里鈴 (志貴野)
最優秀賞	宮池 章恵 (中田)
優秀賞	室作 真理子 (福岡)
富山新聞社優秀賞	川西 緑 (氷見西部)
チューリップテレビ優秀賞	田中 晶子 (高陵)
優良賞	田村 治子 (興南)
優良賞	津幡 茉緒 (奈古)
富山新聞社優良賞	数井 昇平 (奈古)
富山新聞社優良賞	平野 斐 (大門)
チューリップテレビ優良賞	若林 彩花 (志貴野)
チューリップテレビ優良賞	福田 周 (高岡西部)
佳作	境 愛穂 (庄西)
佳作	田中 彩未 (庄西)
佳作	藤井 友香 (速星)
佳作	井野 涼 (福野)
佳作	竹内 晴香 (庄西)
佳作	寺田 香理奈 (魚津東部)
佳作	石黒 温子 (新湊南部)
佳作	一島 耀 (芝園)
佳作	池田 沙織 (井波)
佳作	芝井 洋紫 (石動)
特賞	黒田 祥平 (とみなみ養護)



岩城大介氏は、本校昭和五十八年工芸科を卒業され日本画家として活躍されております。

その後、岩城大介展が三月十四日から四月十六日まで開催されております。南砺の風土を雄大に描いた迫力ある作品七点が展示され、生徒や訪れた人達に大きな感動を呼びました。

七人が様々なもの作りの分野で集まり若い感性を発揮した会場に大勢の人達が見学に訪れました。



## 同窓生ギャラリー 一期一会展が開催される 岩城大介展

1月22日(日)～2月12日(日)

一期一会展が一月二十二日(日)から二月十二日(日)まで開催されました。

林正人氏(昭和五十九年デザイン科卒)や花嶋伊都子氏(昭和六十一年工芸科卒)ら十

## 常設展Ⅲ期

12月22日(木)～2月19日(日)

### 豊かな自然と美術工芸



十二月二十二日(木)から二月十九日(日)まで常設展Ⅲ期が開催されました。「豊かな自然と美術工芸」をテーマに、絵画・デザイン・彫刻・工芸の作品五十六点を展示しました。

十二月二十二日(木)から二月十九日(日)まで常設展Ⅲ期が開催されました。

「豊かな自然と美術工芸」をテーマに、絵画・デザイン・彫刻・工芸の作品五十六点を展示しました。

絵画では、島田四郎氏(大正十四年図案科卒)・桜井幸一氏(大正十四年図案科卒)・村本武夫氏(昭和二十四年図案科卒)等。デザインでは、上野博之氏(昭和三十九年デザイン科卒)・中山真由美氏(昭和五十七年デザイン科卒)。彫刻では、紺谷英儀氏(大正十四年木工科卒)・坂口秋之介氏(大正六年木工卒)・村井辰夫氏(大正十二年木工科卒)など。工芸では、大塚秀之丞氏(旧職員)・松村秀太郎氏(明治三十八年木工卒)等の作品をじっくり堪能できました。

## 常設展Ⅳ期

3月14日(火)～4月16日(日)

### 自然の美しさと用即美



三月十四日(火)から四月十六日(日)まで常設展Ⅳ期が開催されました。

日本画では、立野甚一氏(明治四十二年図絵科卒)・久隅守景氏らの軸物十一点が整然と会場に展示されました。工芸では、山崎覚太郎氏(大正八年漆工科卒)・村田吉生氏(大正十五年図案科卒)・関義平氏(旧職員)・大角勲氏(昭和三十四年金工科卒)等。彫刻では、畑正吉氏(明治三十一年木彫科卒)の作品を展示し先人の立派な技術を改めて知ることができました。

## 卒業課題展

2月25日(土)～3月3日(金)

卒業課題展は今年も青井記念館美術館を会場に盛大に開催されました。

作品は三年間の集大成。六学科九十作品は、時間を掛けた秀作が揃い思い出に残る作品が多くありました。在校生、父兄の方々、関係者大勢の来館があり会場も賑わいました。



### 寄贈作品の紹介



野上 隆作 (昭和十三年工芸圖案科卒・旧職員)  
夏日賦(染色)  
野上 隆氏  
(高岡市在住)より寄贈



蓮田修吾郎 作  
鍍金花器(金工)  
松井 浩氏  
(昭和二十四年電気科卒)の遺族より寄贈  
大島 五雲 作  
欄間 鶴の図(木彫)  
藤野 一郎(卒業生の父兄)より寄贈

### 所蔵作品紹介 (20)

表紙

#### 「ポインター」

松村 秀太郎 作

人物にすぐれた作品が多い松村秀太郎であるが本作は犬を題作として捕らえた作品も生命感にあふれた力強い表現となっている。作者は明治二十一年福光町に生まれる。

明治三十八年本校木工科卒業後、東京美術学校(現東京芸術大学)彫刻科卒業、旧職員(木工科)県内彫刻界の振興発展に尽くした。

### 催事案内

高岡市民美術展・招待作品の展示

五月一日(月)～五月十四日(日)

常設展Ⅰ期

本校所蔵品の展示「絵画・工芸・漆工」

五月二十七日(土)～七月二十六日(水)

同窓生ギャラリー

第四十回「三人展」

高尾宗嗣・船山龍雄・米田美昭

六月四日(日)～六月二十五日(日)

文化部合同展

七月八日(土)～七月二十六日(水)

特別展

「第二回フェローアート展」

八月六日(日)～九月二日(土)

常設展Ⅱ期

本校所蔵品の展示「絵画・工芸・金工」

九月十六日(土)～十一月五日(日)

同窓生ギャラリー

第四十一回「大村高陵親子四人展」

九月十七日(日)～十月八日(日)

尚美展関連作品展

十月十四日(土)～十月二十二日(日)

### はぐくみ会会員募集のお知らせ

はぐくみ会では会員を募集しています。  
申し込みは日付から一年間会員となります。  
主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展(青井中美術)への支援

特典  
1 企画展等の案内

年会費  
2 はぐくみ会だよりの配布

一般会員(個人) 二,〇〇〇円  
特別会員(企業、団体等) 一〇,〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先  
青井記念館美術館はぐくみ会事務局

### 編集後記

平成17年度同窓生ギャラリーでの作品展35回(39回)と開催され、多数の入館者が作品鑑賞されました。

夏休み中の県近代美術館と青井記念館美術館と合同収蔵作品展も今年度で終り残念と思っております。平成18年度には特別展として東京在住の本校OBたちの「フェローアート展」が開催されることと期待しています。  
(竹田記)

### 編集発行

富山県立高岡工芸高等学校  
青井記念館美術館はぐくみ会  
住所 番 933-8518 高岡市中川一-1-20  
TEL 〇七六六-2116三〇  
FAX 〇七六六-2116三二

\* 青井記念館のホームページを開設しております。  
<http://www.tym.ed.jp/sc350/aoi/index.htm>